

経営学部BOOKLET — 教育改革シリーズの創刊

経営学部長 照屋行雄

神奈川大学経営学部は、1989年4月に緑豊かな平塚市西部丘陵の美しいキャンパスに、本学で5番目の学部として理学部とともに開設された。新しい経営学部に対しては、従来の企業経営研究の領域にとどまらず、情報化、国際化、ソフト化の進展によってもたらされる複雑多様な現代ビジネスの問題を、理論的・制度的に究明することが時代の要請であった。わが経営学部は、このような社会の要請に応じて、伝統的な経営学、会計学、商業学の領域を超えて、新たな問題領域の発見・開発と新しい学問体系の研究・教育を行うことをその主たる目的と定めたのである。

そして、本学の創立60周年を記念して創設された新経営学部は、時代の未来を先取りして新たな研究・教育領域を設定し、しかも既存の経営関連学部が対応できていない対象課題を選択することが求められた。神奈川大学で本学部創設に中心的に関わったメンバーは、わが国ビジネス社会の近未来の時代的特徴を、特に国際化がもたらす様々な影響とそれへの対応にあると予見した。そのことを学部学科の名称と編成に正しく反映するため、経営学部国際経営学科の名称のもと一学部一学科編成としたのである。以後、本学部の研究・教育のテーマは、広く「国際経営」と呼ばれる多様な分野の解明におかれることとなった。

経営学部は、学部の教育目的を「経営に関する専門知識を基礎に、国際社会の各分野で臆することなく活躍できる人材の育成」と明示してスタートした。従って、このような学部目的を達成するためには、国際人の育成に必要な教育課程を適切に編成し、そのための効果的な指導プログラムを用意することが求められた。しかも、国際社会が、時代の変化とともに複雑多様となればなるほど、多彩な授業科目や教育プログラムはダイナミックに改編整備されなければならない。経営学部では、科目履修上の特徴を異にする5つのコースを設定し、学生の多様な学修目標の達成を支援する制度設計とその運用を行っている。

このように経営学部は、学部の使命と目的を実現するために、学部創設以来、大胆な教育改革を勇気をもって断行し、また、様々な教育プログラムを信念をもって導入してきた。それによって、大学教育の抱える問題点の改善と高品質の教育サービスの提供に不断の努力を傾注してきた。神奈川大学は、2008年5月15日に創立80周年を祝ったのに続き、2009年4月1日には経営学部創設20周年を迎えることとなる。本学の建学の精神に謳われている「積極進取」を、最もよく実践していると評価されているわが経営学部の教育改革への取り組みを、学部内で歴史的に記録管理するとともに、広く内外の関係者に開示して社会の理解と支援を確保するため、本教育改革シリーズ（略称：ERシリーズ）を創刊する。